

會旗は本會の主體精神を象徵し、統一すべきものであるを信ずる。然るに現在の會旗は、徒らに高價でしかも持ち歩くに不便にして、殆も、葬式用に過ぎない感じがする。

よろしく更始一新の本會としては、勞働組合らしき新會旗を作製すべきである。

方法

- 1、本部、支部に各々一流列大なる會旗を作ることを。
- 2、各船に一流づ、小なる會旗を作ることを。
- 3、會旗の圖案は廣く募集することを。
- 4、製作費用は、寄附金に仰ぐことを。

—多數可決—

6、機關紙擴充に関する件

石井君

主文

吾等は權威ある機關紙の發行を期す。

理由

司厨部員はその職業上最も不平不満の多きものである。之の不平不満を絶えず適度に曝露させ、クワ

ン和させるものは、吾々の機關紙に他ならぬ。

しかも、絶えず、吾々の立場に超らて、支配階級に抗議し、吾々を保護慰安し、遠く異境にあるものをして力強く感ぜしむるものは、實に、機關紙の最たる任務であつて、其の効用まことに大なるものがある。

吾々はさきに日本船員新聞を廢刊して、一日も早く之に代るもの、出る事を希望してゐる。

方法

現在支部發行のニュースを日刊新聞型とし、當分の中月一回刊行すること。

その他は、教育出版部に一任す。

満場一致可決

7、基金募集に関する件

竹田君

主文

本年中に基金三千圓を積立てることを。

理由

本組合は海上特殊労働團體であつて、いつ如何なる不時の場合が起らぬとも限らぬ。かゝる時、相當の基金を有せぬことは、運動上に非常に不安を來すものである。しかして現在の會費五十圓を以てして基金を積立てるが如きは、その時日の點に於いて、一朝一夕で